

科目名	生涯発達人間学		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (N)-食物栄養学科-資格科目【フード・健康運動・第一種】		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	
授 業 形 態	講義	単 位 数	
資 格 関 係			

実務経験の有無

無

実務経験および科目との関連性

無

ねらい 科目の性格 科目の概要 授業の方法 (ALを含む) 到達目標 ディプロマ・ポリシーとの関係

科目の性格

この科目は、食物栄養学科の学生を対象とした選択科目である。

科目の概要

人は生まれてから死ぬまで生涯を通じて発達していく存在であるという生涯発達の観点から、人の一生の各時期の特徴を学ぶ。特に、加速する少子高齢化に焦点を当てて、人生の最初期である乳幼児期と65歳以上の高齢期における、心身のさまざまな特徴や生じうる問題点を学び、他者への援助のあり方を含めた人間についての理解を深める。

授業の方法 (ALを含む)

毎回、授業の内容に関するリアクションペーパーを提出する。

各発達時期の特徴及びそこで生じうる問題点について、各自が概観しまとめることができるようにする。【リアクションペーパー】

到達目標

- (1)人間の生涯に亘る身体的、心理的発達について重要性を理解する。
- (2)生活における発達理解の意義について理解を深める。
- (3)生活を支援する基礎を学ぶための基礎的知識を身につける。

ディプロマ・ポリシーとの関係

無

内容

講義形式であるが、各回の授業の最初に教員から授業に関連する疑問・論点を投げかけ、それを含めて授業の終了時に、授業の内容に関するリアクションペーパーを提出する。リアクションペーパーで多かった疑問や意見に対しては、教員からコメントをフィードバックする。

1	生涯発達とは
2	乳児期 1 :胎児期から誕生まで
3	乳児期 2 : 乳児期の特徴
4	幼児期 1 : 幼児期の身体的特徴
5	幼児期 2 : 幼児期の心理的発達
6	幼児期 3 : 幼児期の認知的発達
7	児童期

8	前半のまとめ
9	思春期
10	青年期
11	成人期
12	高齢期 1 : 高齢期の心理的特徴
13	高齢期 2 : 高齢期の身体的特徴
14	高齢期 3 : 高齢期の疾病と生きがい
15	まとめ

各授業回における授業外学習の内容・所要時間

【事前予習】指定テキストの次回該当箇所を熟読しておくこと。出来れば事前にレジユメを作成し、疑問点などをまとめて授業に出席することが望ましい。[約1時間～1時間半]

【事後学修】授業内容はレジユメとして配布するので、よく復習し、各自の疑問点と照らし合わせながら理解しておくこと。[約1時間～1時間半]

評価方法および評価の基準

毎回のリアクションペーパー30点、期末筆記試験70点で評価を行う。60点以上を合格とする。

合格点に達しなかった場合には、再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】無藤隆・大坪治彦・岡本祐子 『よくわかる発達心理学（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）』 ミネルヴァ書房

【推薦書】内田伸子編「よくわかる乳幼児心理学」ミネルヴァ書房

伊藤亜矢子編「エピソードでつかむ児童心理学」ミネルヴァ書房

白井利明編「よくわかる青年心理学」ミネルヴァ書房

大川一郎他編「エピソードでつかむ老年心理学」ミネルヴァ書房

学習上の助言、教員からのメッセージ、履修上の注意点など

総合点で60点に達しなかった場合には、再試験を行う。再試験の方法等はLive Campusから周知する。